

れるところであらうが、吾人はその二重的性質を去り專一に佛教美術研究の指針とならんことを祈つておく、若し純正なる研究雜誌として月刊繼續が困難であるならば、季刊でも一年三回二回の發行でもよいと思ふ。要は研究雜誌としての生命の持續如何である。創刊に當つて聊か吾人の微衷を披瀝し、その發刊を賀すると共に本誌の將來を思ふて蕪辭を陳べた次第である。

(四六倍版。六册前金郵稅共七圓、十二册前金同拾貳圓、京都市佛教美術社發行)。(泉)

◎最近佛教研究關係

圖書論文一覽

●圖 書

- 眞宗學史 (鈴木法琛) 京都六條學報社(價二、八〇〇)
- 科學上より觀たる極樂の實在 (伊藤圓定) 東京禪書刊行會(二、〇〇〇)
- 柱ぼさげの光 (稻葉道意) 鹿兒島大谷派別院(非賣品)
- 聖德太子と眞宗 (沼法量) 京都佛教學會(二、〇〇〇)
- 新譯本朝法華傳 (磯村野風) 大阪吉田書店(一、五〇〇)
- 佛像綜覽 (柴田常惠) 東京右文館(二、八〇〇)

●誌

誌

- 魚山精義 (上村敦仁) 東京西藏院(一、八〇〇)
- 慶念房の事蹟 (御橋義海) 京都大我堂(非賣品頒布上〇、八〇並〇、五〇〇)
- 日本佛教の大勢と興教大師 (鷲尾順教) 東京新興社(〇、二〇〇)
- 興教大師の法系 (富田敦純) 同 (〇、二〇〇)
- 南都と西京 (佐々木恒清) 東京右文館(一、六〇〇)
- 世界宗教一揆史 (内藤智秀) 東京天祐社(二、四〇〇)
- 夜摩天宮會及其解說(佐々木月樵) 京都護法館(一、五〇〇)
- 良寛和當遺墨集 (相馬御風) 東京春陽堂(三、〇〇〇)
- 仙岸禪師遺墨集 (富田溪仙) 東京巧藝社(二、〇〇〇)
- 舍衛城及び祇園精舎の研究 (赤沼智善) 佛教研究(一、一〇)
- 西藏喇嘛教史、一 (寺本婉雅) 同
- 觀心と觀佛 (稻葉圓成) 同
- 正安版生讚輿書を中心とする史的考察 (藤原猶雪) 同
- 佛教研究の革命的微光としての出定後語觀 (井上右近) 同上

東條義門について (住田智見、吉澤義則、高島正、大島仲太郎)

橋川正) 同

尼僧教團の七相續者、一—二

(赤沼智善) 合掌(四、五、六)

漢明求法説の研究 (常盤大定)

東洋學報(一〇ノ二)

新出三攝論と章疏とについて

(矢吹慶輝) 同

眞の涅槃 (推尾辨匠)

宗教界(一六ノ三)

立正安國論に就て (今岡招庵)

同

釋迦念佛と釋迦堂本尊の模刻、上

(戸部隆吉) 同、東京美術學校月報(六、七)

支那民族性を解剖して唐朝佛教を論評す、二

(塚本貫遠) 宗教界(一六ノ三)

京阪地方現存佛像の一瞥

(佐々木恒清) 歴史と地理(ノ三)

釋尊時代の醫界醫人及其醫術

(佐々木月樵) 醫人(一〇〇)

要法寺版の研究に就て

(新村 出) 圖書館雜誌(四三)

高野版原價の價值測定と開版書目の還元

(藤原猶雪) 同

佛教と國家及び社會、一、二、三

(黑板勝美) 宗報(二二二、二二二)

宗教法草案 (佛教各宗聯合會) 同 (二二三)

平田篤胤の神學に於ける耶蘇教の影響

(村岡典嗣) 藝文(一一ノ三)

日蓮主義を知る前に法華經を知るべし 日蓮聖人を知る前に佛陀を知るべし

(木村龍寛) 法華(七ノ三)

一念三千の法門について、續

(荒木清男) 同

予の觀たる大本教 (中村古峽) 東亞の光(一五ノ三)

無門關研究斷片、下 (井上秀天) 同

近代基督敎の特徴、上

(野々村戒三) 六合雜誌(四〇ノ三)

京畿地方における古瓦文様の研究、五

(伊藤清造) 考古學雜誌(一〇ノ七)

武藏國分尼寺址といふ地

(山中 笑) 同

海獸葡萄鏡の發達に就て

(中山平次郎) 同

隱岐國分寺の遺址と遺物

(足立 正) 同(一〇ノ八)

鏡前國大分廢寺址及同所發見古瓦

(高橋健自) 同(一〇ノ九)

印度建築と回教建築との交渉

(伊藤忠太) 建築雜誌(三四ノ三九七)

約翰傳福音書の宗教哲學的思想

(日野眞澄) 哲學研究(五ノ三)

大乘起信論に對する史的研究、又續

(村上專精) 哲學雜誌(三五ノ三)

大乘起信論印度撰述考見

(常盤大定) 同(三五ノ四五)

中世日本の寺院領 (朝河貫一)

歴史地理(三五ノ三)

藤原良經の筆跡について

(龍 甫) 同

足利義晴と桑實寺

(中川泉三) 同(三五ノ四)

天台宗年表

(赤堀又次郎) 同(三五ノ五)

聖德太子は果して逆臣馬子を赦し給ひしか

(高島米峰) 中央公論(三五ノ五)

聖德太子の根本思想(黑板勝美)

中外新論(四ノ五)

聖德太子と美術 (瀧 精一)

六大新報(八六〇)

聖德太子と法華經一(幸崎賢道)

叡山宗教(一ノ二)

常陸上宮寺藏の聖德太子繪傳

(橋川 正) 佛教美術(一ノ二)

日本の系統的光明神話

(境野黃洋) 東洋哲學(二七ノ三、四)

嵯多時代の藝術、上(小野玄妙)

同(二七ノ三)

諸種夢經の思想發展論

(手島文倉) 宗教研究(一一)

印度佛教最後の大學(河口慧海)

同 佛教史家としての凝然の態度に關する研究

(大屋徳城)

同 弘法大師について (神山謙鏗)

同 新發見の親鸞聖教「彌陀如來名號德」

(橋川 正) 親鸞と祖國(二ノ四)

親鸞聖人の批判的精神

(梅原眞隆) 親鸞聖人研究(一)

同 教信沙彌と愚禿親鸞(同)

同 俗法師考序論 (喜田貞吉) 民族と歴史(三ノ五)

同 法師と坊主 (同) 同

同 遠州平田寺發掘古銅器解説

同 榮山寺 (同) 同

同 聲聞師考 (同) 同(三ノ六)

同 宗祖大師傳考、續 (高島慈海) 新天台(三ノ三、四、五)

同 日本佛教初期の感化(口入田覺了) 密宗學報(八二)

同 因果思想の研究 (高神覺昇) 同

同 屍鬼二十五物語、續(岡井大梁) 同(八二、八三)

同 十一面觀音の話 (松坂旭信) 同(八三)

同 摩多體文知自心鈔 (土師原穆秀) 同

大日經並末書解題、八

(小田慈舟)

同

金剛界發惠鈔(續)

同

覺鑊上人に顯はれたる往生要集、二、三

(高神覺昇)

同(一ノ二、三)

觀經の彌陀につき天台善導二師の見解、二、三

(西川覺證)

叡山宗教(二ノ二、三)

叡山の良忍上人が融通念佛を唱ふ、二

(山口光圓)

同(一ノ二)

眞言思想の變遷に就て

(岡田祐孝)

同

念佛行者百如慈芳

(清 瀧子)

同

教行信證に現はれたる觀經

(杉 紫朗)

六條學報(二二九)

自然法爾章の研究、下

(藪田宗惠)

同

修諸功德論

(小山法城)

同

肥後先轍の五劫思惟論

(能令達勝)

同

犍子部の補特伽羅に就て

(増山顯珠)

同

我國に於ける梵語研究、二

(藪田宗惠)

同(二二〇)

新刊紹介

法華經と吾高祖

(日下大凝)

同

教行信證に現はれたる淨土文跋

(梅原眞隆)

同

盧遮那佛と毘盧遮那との名目に就て

(龜川敦信)

同

法華經方便品の梗概(長瀧智大)

(小林一耶)

毒鼓(一ノ五) 法華(七ノ四)

日蓮上人の忍耐心

(磯野本精)

同

日蓮宗とお勝の方

(野島草民)

同

弘法大師の入定説に就て

(喜田貞吉)

史林(五ノ二)

元政壁書といふ文の事

(藤井乙男)

同

日本古建築研究の葉、二

(天沼俊一)

同

大黒天及夷神再考、二

(長沼賢海)

史學雜誌(一ノ三)

法橋顯昭の著書と守覺法親王

(橋本進吉)

同

弘法大師入定考

(水原堯榮)

六大新編(八五九)

朝鮮佛教の藝術二、三

(長谷部隆諦)

同(八五七、八五八)

廣如上人の御芳蹟(續)

(教海一瀾)

同(六四七)

二四九

四三七

戯曲に見わたる大師と高野山、續

(黒木勸藏)

高野山時報(一八六、一八七

一八九、一九〇、一九一)

佛教心理、續

(瀨成世眼)

同(一八七、一八九)

大師の立教開宗時代、一

(神山諦鑾)

同(一九〇)

山家大師と密教、一(菊岡義衷)

山家學報(二四)

安然和尚傳考、一(清水谷恭順)

同

法華玄義研究の一端(山村光敏)

同

經錄の研究、二(今津洪嶽)

同

生命の宗教としての密教

(小林正盛)

秘鍵(創)

東禪寺事件の水野筑後守記録と天野春翁小履歴、一

(水野克讓)

江戸(三八)

上野輪王寺宮料當職大覺王院戊辰日記、八

同

法の思想から業の思想へ

(三井昌史)

無礙光(一六ノ五)

建敷邇の佛教美術

(小野玄妙)

佛教美術(一ノ一)

醍醐寺藥師堂

天沼俊一)

同

奈良時代の佛寺建築と彫刻

(佐々木恒清)

同

シヤパーの佛塔に就て

(松本文三郎)

同

鎌倉に於ける釋迦堂と極樂寺の本尊

(戸部隆吉)

同

慶長以前の佛教本活版

(舟橋水哉)

同

●卒業論文 (提出)

■眞宗大谷大學 六月二十九日

中論空思想より信方便の宗教へ

阿頼耶識に關して

法華經に就ての私見

阿彌陀經の研究

世觀の研究

佛教に於ける宿業觀の發展と自由の思想

諸天を中心とせる愛欲の研究

我と信との不可離性

俱舍論に顯はれたる物心の研究

空有二系を基調としての眞宗二諦の史的研究所

淺野玄徹

飯尾圓什

石川亮

大澤圓麿

春日良應

木村一意

木村不二麿

草葉隆圓

倉角包麿

小寺顯淳